



# 十条の「まち壊し」やめよ



勉強会で質問に答える、そねはじめ都議 = 18日、上十条ふれあい館

## 住民組織3団体が勉強会 そねはじめ都議と話そう

都と北区が進める  
十条まちづくり計画  
に反対する3つの住  
民団体（庶民のまち  
十条を守る会、西口  
再開発を見直す会、  
埼京線とまちづくり  
を考える会）は18日、  
上十条ふれあい館で  
「十条駅付近で進む  
まちこわしの今後を  
問う！」と銘打った

勉強会を開催しまし  
た。地元の都議会議  
員に計画についての  
考えを聞く2回目の  
今回は、そねはじめ  
都議がゲストに招か  
れました。

### 住民と心ひとつ に見直し迫る

紹介、「どの課題も  
大きな問題を抱え  
ている。十条の『ま  
ち壊し』を許さない  
ために、住民のみな  
さんと心をひとつに、  
全面的な見直しを求  
めてがんばる」と決  
意を述べました。

主催者から、①補  
助73号線計画、②  
140超  
層の駅前再開  
発、③埼京線  
立体化にとも  
なう側道計画、  
④補助85号  
線の拡幅計画、  
への態度を問  
われた、そね  
都議は、一つ  
ひとつにコメ  
ントしながら  
日本共産党  
が都議会や区  
議会で追及し  
てきたことを

これに先立つ主催  
者挨拶では、団体の  
代表が「この間、十  
条がマスコミで次々  
に取り上げられてい  
る（裏面参照）。運  
動をさらに大きくし  
よう」、「商店街が昨  
年6月に区に出した  
要請に未だ回答がな  
い」などと報告しま  
した。（のの山けん）

### マスコミも注目、 運動さらに

## 東京北法律事務所が 新春セミナー

「市民連合」呼びかけ人・元 SEALDs 諏訪原健さんが講演

16日、北法律事務所の新春セミナーで元 SEALDs の諏訪原健さんが「私たちが目指す新たな民主主義とは」と題して講演。平和と民主主義への一途な思いで時代を切り開いてきた力は、まだまだ無限の可能性を秘めていると感じました。（のの山けん）





十条まちづくり問題を特集したテレビ朝日「Beito Takeshi's TV Tackle」(5日放映)から、討論に参加したゲストのコメントを紹介します。

## 十条まちづくりで激論!



### 耐火の方がコスト安い

木造だから危ないんでしょう。その家をコンクリートにリフォームして、燃えない耐火材にしてあげれば、その方がコスト的に本当に安いし、住民にとっても動かなくてもよい。

(杉村太蔵氏)



### 道路作るのありきでは

本当に防災だけが目的であれば風向きとかも考慮して防災にベストな形で道路を作ればいいのになって思うけど、道路作るのありきみたいな印象がたぶん住民の方には強いんじゃないんですか。(ホラン千秋氏)



### 住民納得のプロセスこそ大事

本音は道路を作りたいんですよ。これが防火建築に代わればそれでもいい。いろんな防災対策があると思いますよ。やはり住民のみなさまが納得できる本当の防災プランは何かをまず問いかけて、じっくりちゃんと住民と話し合わないといけないんです。まだまだそれができていない。そのプロセスを全部ほっぽらかして、いきなり結論でとにかくつくるとなると話はおかしくなっちゃう。(平井伸治鳥取県知事)



## 自分のために生きるという選択

### 城北演劇を観る会 俳優座劇場 音楽劇「人形の家」

幸せな結婚と裕福な環境に過ごす主人公ノラのもとへ、過去の借金をネタに自分が解雇されないよう夫を説得しろと強要する男が現れる。借金の事実が明らかになれば、夫にどれだけの迷惑がかかるかわからない。夫の名誉を傷つけることにもなる。思い悩むノラに、夫は平然と男を解雇するつもりはないと告げる。

夫のために、子どものためにと生きてきたノラが、自分のために生きるという選択をする瞬間、豪邸は「人形の家」だったとわかる。原作の初演は130年以上も前だが、テーマは現代にも通じる重みを持つ。「わが町」に続き、土居裕子の好演が光るものの、あえて音楽劇にする意味があったのか。(のの山けん)